

周囲を山と海に囲まれ自然豊かな内浦小学校は、校庭が神社と照葉樹林に隣接し、近くには三里松原がひろがる環境です。

3年目になる今回は、5年生12名とネイチャーゲーム「フィールドビンゴ～自然の不思議を見つけよう～」、五感をつかって楽しみました。

森林講話は学校の希望があり、3学期に学習予定の「林業」について詳しく話しました。



いつもの校庭で目をして耳をすませたら、波のゴーゴーという音や、いろんな鳥の声が聞こえた！

ご神木クスノキの直径は？ 幹回りは約540cmだから、3で割ると180cmだね
クスノキの葉っぱって、いいにおいがするんだね～！
これからも匂ったり触ったりして、五感をつかって観察したい、って思った



直径約15cmの杉材を伐るのに、3人かかりで3分半かかった
チェーンソーなら10秒かからない、って聞いてビックリ！

森林講話「森の働きと林業について」

林業の作業の流れや現状について、わかりやすく話しました。
作業で着用するチャップスやヘルメット、下草刈りの鎌や、枝打ち用ノコ、チェーンソーなどの道具を見て触りました。
ふりかえりでは、
暑い夏の下草刈りや、傾斜地で行う作業の大変さを感じた。
鎌の先はなぜ曲がっているのか、チェーンソーの使用できる時間はどれくらいか、など作業道具に関する質問も多く聞かれました。社会の授業の予習になったかな。



インストラクターの心ゆさぶる自然環境です
スタッフ 樋口、常藤 (報告)